

令和3年度 社会福祉法人 木犀会 コナン・キッズ 事業者向け自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫してる点など
環境 体制整備	1	利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			作業をする部屋、生活をする部屋など場所と活動の対応を心がけている
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		安全に支援を行うため、基準以上の人員を配置している。
	3	事業所の整備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			5	トイレなどに細かな段差がある。またトイレの個室が狭く介助しやすいいとはいえない。
業務改善	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			毎年実施している。
	5	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにてアンケート結果を公開していく。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			5	コロナの影響で実施できないでいる。今後はWEB研修などを積極的に利用していく。
適切な支援 の提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			専門の臨床心理士を配置し、専門的な観点から個別支援計画を作成している。
	8	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			必要な場合にはVineland-IIなどの標準化された指標を用いてアセスメントを行っている。
	9	活動プログラムの立案をチームで行っているか		2	3	チームではなく、主となる職員と臨床心理士が話し合い活動を決めている。
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			1	発達障害、自閉症をお持ちの方にとって活動プログラムの変化は負担となるため、あえて活動プログラムは固定化させている。
	11	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			長期休暇などには活動を固定させることで児童の負担にならないように設定している。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		内容は固定化しているが、子供の状況、メンバーによって難易度や量を調整し達成感を味わいやすいようにしている。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			5	成人支援との兼務のため現状として毎日の打ち合わせは難しい。代替案を検討していく。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			5	成人支援との兼務のため現状として毎日の振り返りは難しい。代替案を検討していく。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		5		記録について書き方が一定しておらず、支援の検証の材料とまではいたっていない。今後の課題とする。

	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			最低でも6ヶ月に一度は見直しを行い目標を定めている。
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5			基本活動に従い作業、余暇、運動、自立活動を組み合わせて支援を行っている。
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			担当者会議には主にその児童を担当しているスタッフ、臨床心理士を参加させている。
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		2	3	適切には行っていない。学校行事についてはいつも保護者様からの情報に頼っている。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	医療的ケアの必要なお子さんはご利用していないため連絡体制を構築していない。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			幼稚園、保育所、学校、児童館などに出向いて情報共有に努めている。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			必要な場合には行っている。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			5	茨城県発達障害者支援センターでの助言は受けていない。また、児童発達支援センターも近隣にはない。しかし、職員に対しての専門研修の受講を積極的に薦めている。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	ご利用される児童の住んでいる市町村が多岐にわたるため機会を設けていない。今後の課題としたい。
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5			美浦村教育支援委員会、美浦村自立支援協議会、稲敷市自立支援協議会などに参加している。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		その日のお子様の状況を伝えることを目的に帰りの送迎をあえて実施していない。お迎えの時にできるだけ時間をとり伝えることを心がけている。また、希望があった場合には臨床心理士との面談も行っている。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			個別療育を実施しており、その中でもペアレント・トレーニングの知識や心理教育には力を入れている。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			5	重要事項説明書を用いて説明を行っているがまだ十分とはいえない。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			個別療育の中ではコナンでの生活だけでなくご家庭での生活や将来のために何が必要かなどのアドバイスも行っている。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	保護者同士の連携についてはまだ取り組みを行っていない。今後の課題とする。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			5	苦情、要望があった場合には朝の申し送り時にスタッフ間での共有を行っている。

	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			5	会報についてはまだ実施していない。今後の課題とする。
	33	個人情報に十分注意しているか			5	
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		5		児童については絵カードなどを使えるだけ児童にわかりやすく心をかけている。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	美浦村から発達相談の委託を受けるなど地域に開かれた事業所を目指している。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			5	慣習としてどのようにするかは指導は行っているが、文書化は行っていない。今後の課題とする。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			5	通所されているお子様の特性を考慮に入れてスタッフのみの訓練となっている。児童を含めた訓練の方法を模索していく。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			5	マニュアルに虐待の防止や適切な考え方の項目を設けスタッフに配布。確認を行っている。また、ケース会議や朝礼などでの注意喚起も頻繁に行っている。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			5	保護者との共通理解はできている。しかし、サービス計画には記載していない。今後の課題とする。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			5	必ず契約前に食物アレルギーについては確認を行っている。しかし、現在食物アレルギーを持つ児童は通所していない。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			5	ヒヤリハットは作成しているが事例集は作成していない。今後の課題とする。